

# 『鬼怒川緊急対策プロジェクト』 『水防災意識社会』の再構築

(令和3年9月15日完成)



# 『水防災意識社会』とは…

- 我が国では、古来、水害が日常的に発生  
→水害を「**我がこと**」として捉え、**自ら対処しようとする意識**が社会全体に根付いていました。⇒「**水防災意識社会**」

例)水屋 (避難場所として高い場所に作った建物)  
上げ舟(軒下等に備え付けられた避難用の小舟)

- 近代的河川改修が進み、水害の発生頻度が減少  
→社会の意識が「**水害は施設整備で発生を防止**」へと移り変わりました。

- 今後の気候変動により、施設能力を超える洪水の可能性  
→「**施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの**」へと意識を变革し、**社会全体で洪水氾濫に備える必要があります。**

➡『**水防災意識社会**』の再構築

# 「鬼怒川緊急対策プロジェクト」

平成27年9月関東・東北豪雨で大きな被災を受けた鬼怒川下流域。  
国、茨城県、鬼怒川下流部の7つの市町が主体となって、

**ハード・ソフトを一体化した緊急的な治水対策を行っています。**



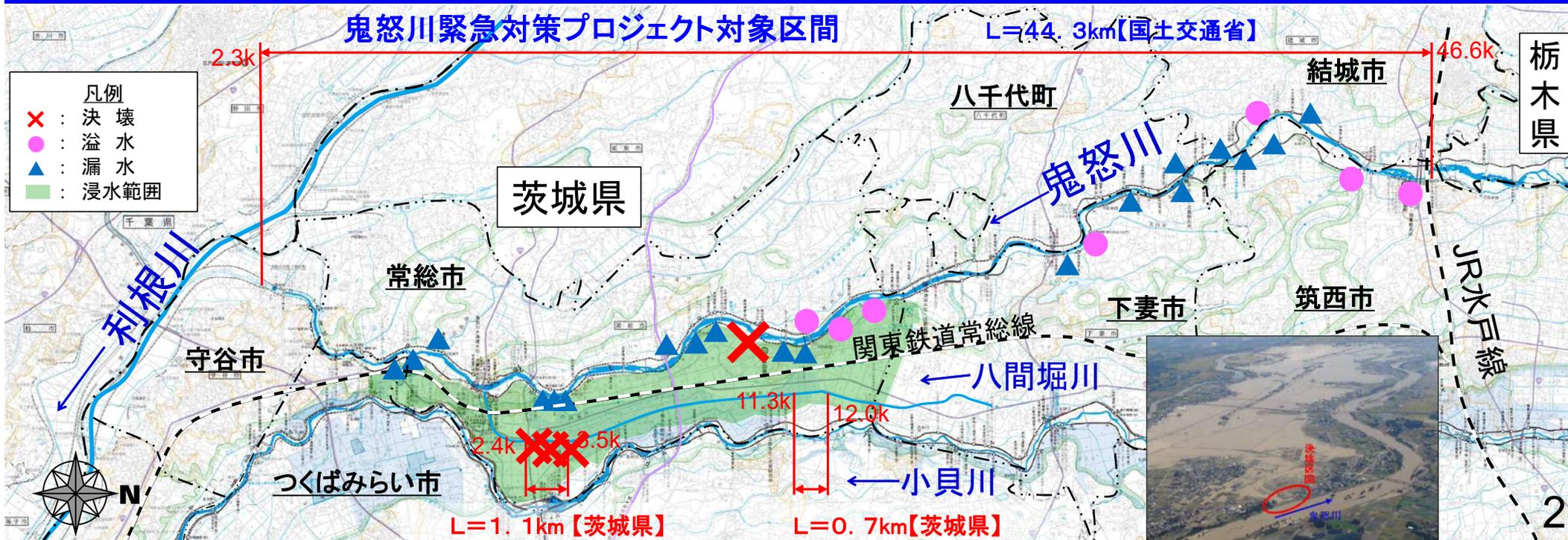
## 【ハード対策】

- 決壊した堤防の本格的な復旧
- 高さや幅が足りない堤防の整備
- 洪水時の水位を下げるための河道掘削など

## 【ソフト対策】

- 豪雨時の行動を示した「タイムライン」の作成とそれに基づく訓練
- 地域住民等との共同点検
- 広域避難に関する仕組みづくりなど

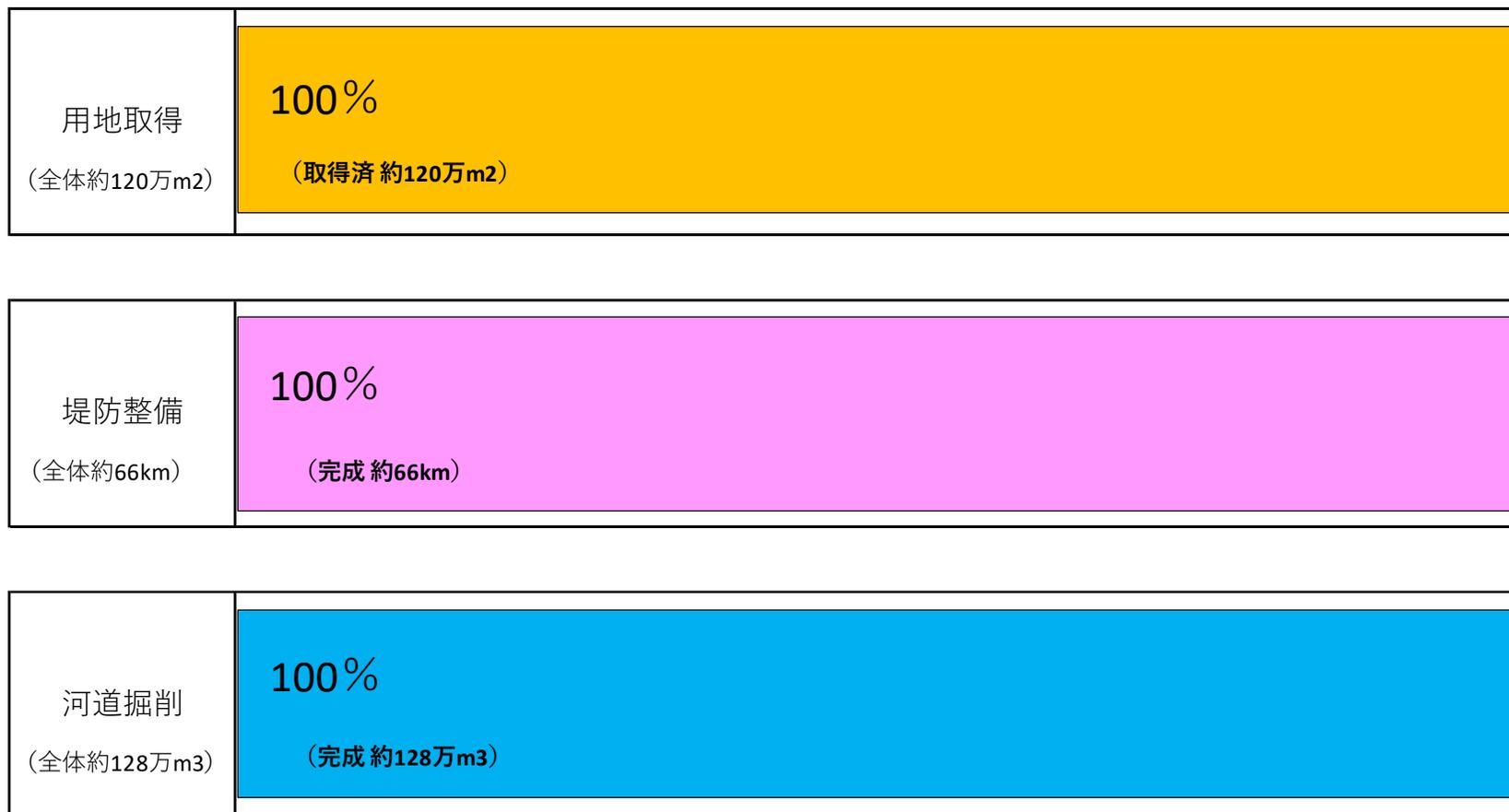
平成27年9月の再度災害防止を図るとともに、施設の能力を上回る洪水等による氾濫が発生することを前提として、社会全体でこれに備える『水防災意識社会』の再構築を目指します。



# 『鬼怒川緊急対策プロジェクト』 【ハード対策関連】

# 鬼怒川緊急対策プロジェクト ハード対策の状況

- 決壊や溢水などの被災を受けた箇所は、事業着手後、速やかに堤防整備を実施しました。
- 堤防の高さ対策は令和3年5月末時点で完了しており、一部の天端工や植生工等の残工事が残っていましたが令和3年9月15日で全て完了しました。



# 鬼怒川緊急対策プロジェクト工事進捗状況(令和3年9月15日時点)

## 鬼怒川緊急対策プロジェクト区間(2.3k~46.6k)

大形橋下流区間

大形橋上流区間



● : 完成工事 180工事

令和3年9月15日時点で、180工事が完成。  
(災害21工事、築堤等143工事、河道掘削16工事)

# 鬼怒川における堤防整備状況(下流部) 令和3年9月15日時点

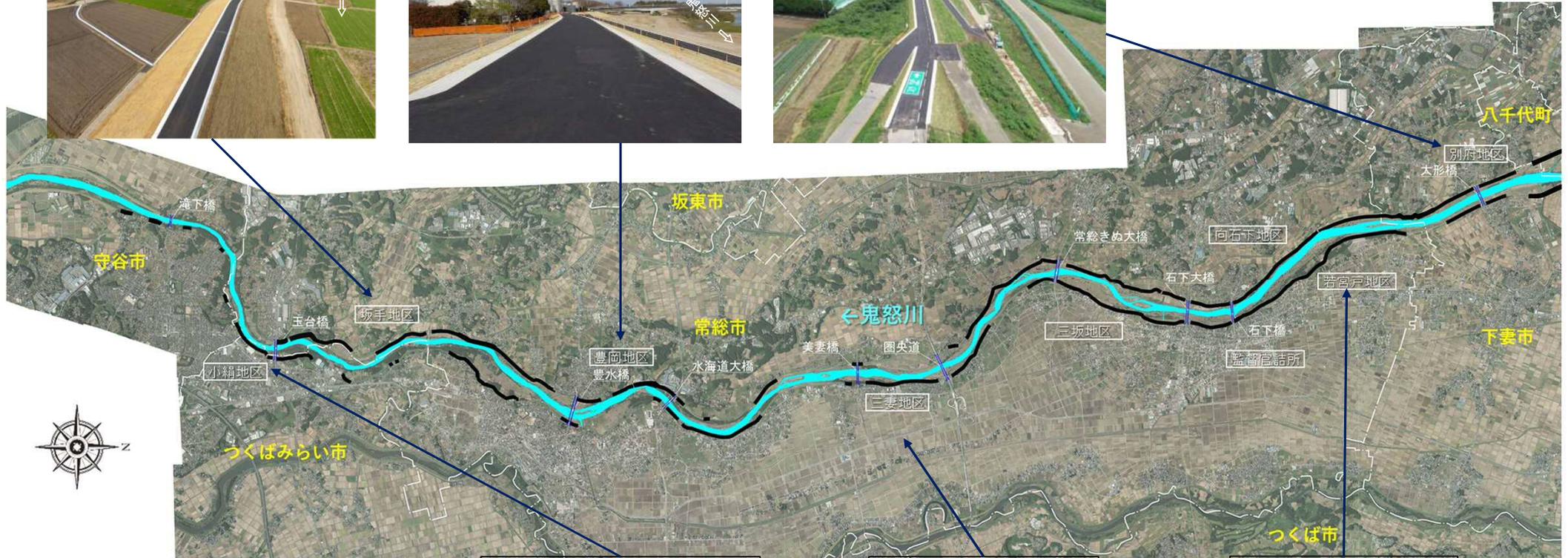
常総市坂手地区堤防整備状況



常総市豊岡地区堤防整備状況



下妻市別府地区堤防整備状況



つくばみらい市小絹地区堤防整備状況



常総市三妻地区堤防整備状況



常総市若宮戸地区堤防整備状況



<色の凡例>



鬼怒川緊急対策プロジェクト

「水防災意識社会」の再構築を目指します。

# 鬼怒川における堤防整備状況(上流部) 令和3年9月15日時点

八千代町坪井地区堤防整備状況



八千代町高崎地区堤防整備状況



結城市上山川地区堤防整備状況



下妻市長塚地区堤防整備状況



下妻市尻手地区堤防整備状況



筑西市船玉地区堤防整備状況



<色の凡例>



鬼怒川緊急対策プロジェクト

「水防災意識社会」の再構築を目指します。

# 「鬼怒川緊急対策プロジェクト」 事業説明会の実施

## ◆事業説明会開催状況

H28年4月までに沿川7市町の住民関係者に向けた事業説明会を実施

開催日	説明会	参加人数	備考
H27年11月 8日(日)	常総市三坂地区	30	市主催説明会
H27年11月15日(日)	常総市若宮戸地区	7	市主催説明会
H27年11月21日(土)	常総市若宮戸地区	87	市主催説明会
H28年 2月 7日(日)	常総市地区別説明会 (五箇小学校区)	48	
H28年 2月11日(木)	常総市地区別説明会 (水海道小学校区)	43	
H28年 2月11日(木)	常総市地区別説明会 (大生小学校区)	36	
H28年 2月13日(土)	常総市地区別説明会 (豊田小学校区)	21	
H28年 2月14日(日)	常総市地区別説明会 (石下小学校区)	51	
H28年 2月14日(日)	常総市地区別説明会 (三妻小学校区)	36	
H28年 2月21日(日)	常総市地区別説明会 (石下西中学校区)	28	
H28年 2月21日(日)	常総市地区別説明会 (水海道西中学校区)	17	
H28年 3月22日(火)	筑西市事業説明会 (旧下館)	8	
H28年 3月24日(木)	筑西市事業説明会 (旧関城)	43	
H28年 3月26日(土)	AM PM 守谷市事業説明会	58	
H28年 3月30日(水)	AM PM 結城市事業説明会	109	
H28年 4月16日(土)	AM PM 下妻市事業説明会	120	
H28年 4月17日(日)	AM PM つくばみらい市事業説明会	25	
H28年 4月24日(日)	AM PM 八千代町事業説明会	124	

平成28年3月24日 筑西市説明会



平成28年3月26日 守谷市説明会



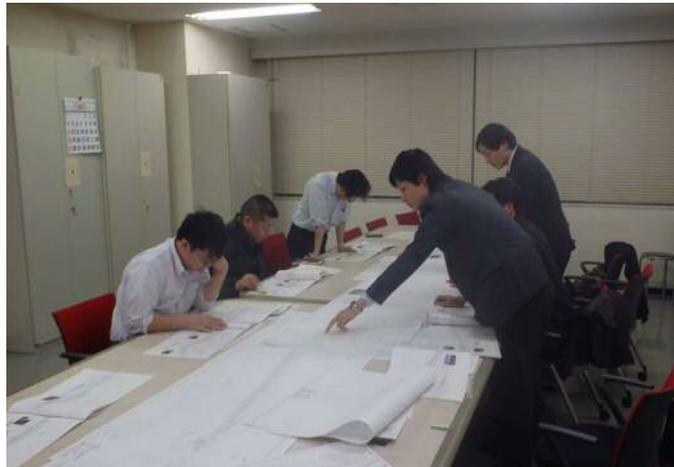
# 所内並びに関係機関との協議の実施

○鬼怒川緊急対策プロジェクトの進捗に向け、所内並びに茨城県や関係市町との協議を繰り返し実施することにより、整備状況の確認や、各種課題等の解決に向けた方策検討などを進めています。

【所内調整会議の定期的な実施】



【委託企業との設計協議】



【茨城県との連絡調整会議の定期的な実施】



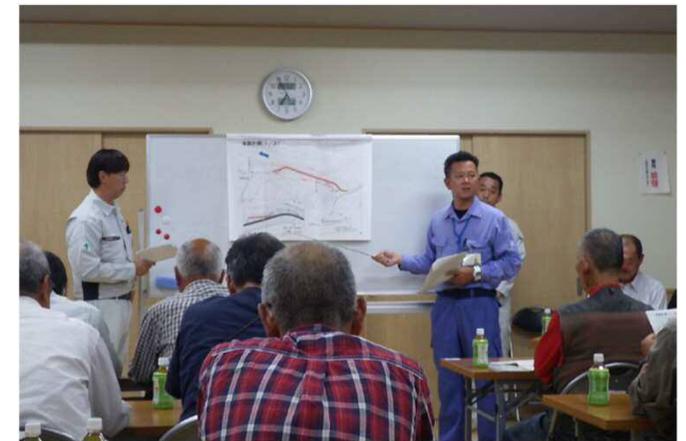
【用地取得等の調整に向けた関係市町合同会議】



## 【用地取得・境界立会状況】



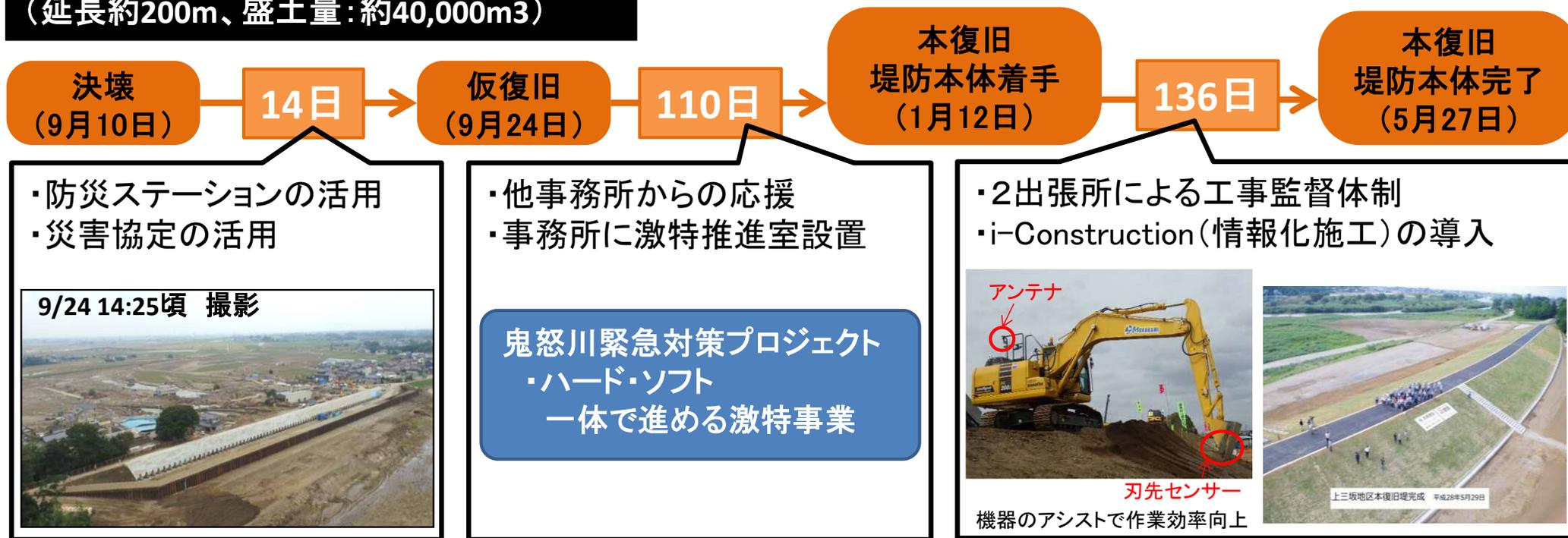
## 【堤脚水路排水先協議及び地元調整状況】



# 堤防を早期に完成させるための工夫

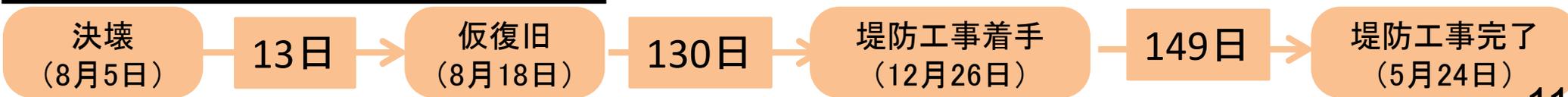
- 平成27年9月10日、関東・東北豪雨による記録的大雨により、常総市上三坂地区の鬼怒川の堤防が、延長約200mにわたって決壊。
- 国土交通省では、さまざまな工夫を積み重ね、仮復旧を14日間で完成させるとともに、梅雨前の5月27日に本復旧を完成。

常総市上三坂地区  
(延長約200m、盛土量:約40,000m<sup>3</sup>)



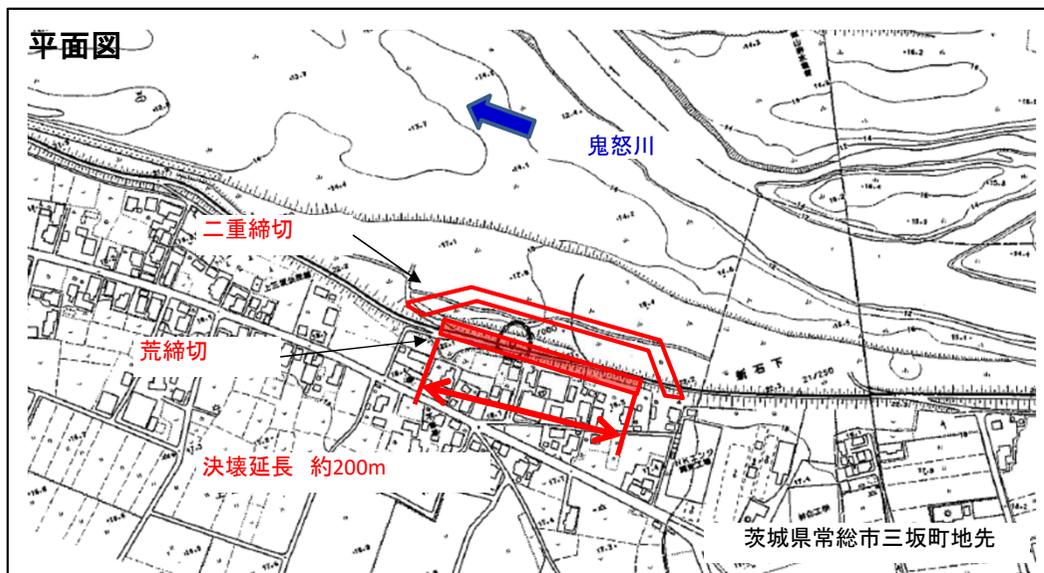
【参考】昭和61年 小貝川  
(延長約85m、盛土量約10,000m<sup>3</sup>)

小貝川と比べ約一カ月短縮 梅雨前に堤防完成



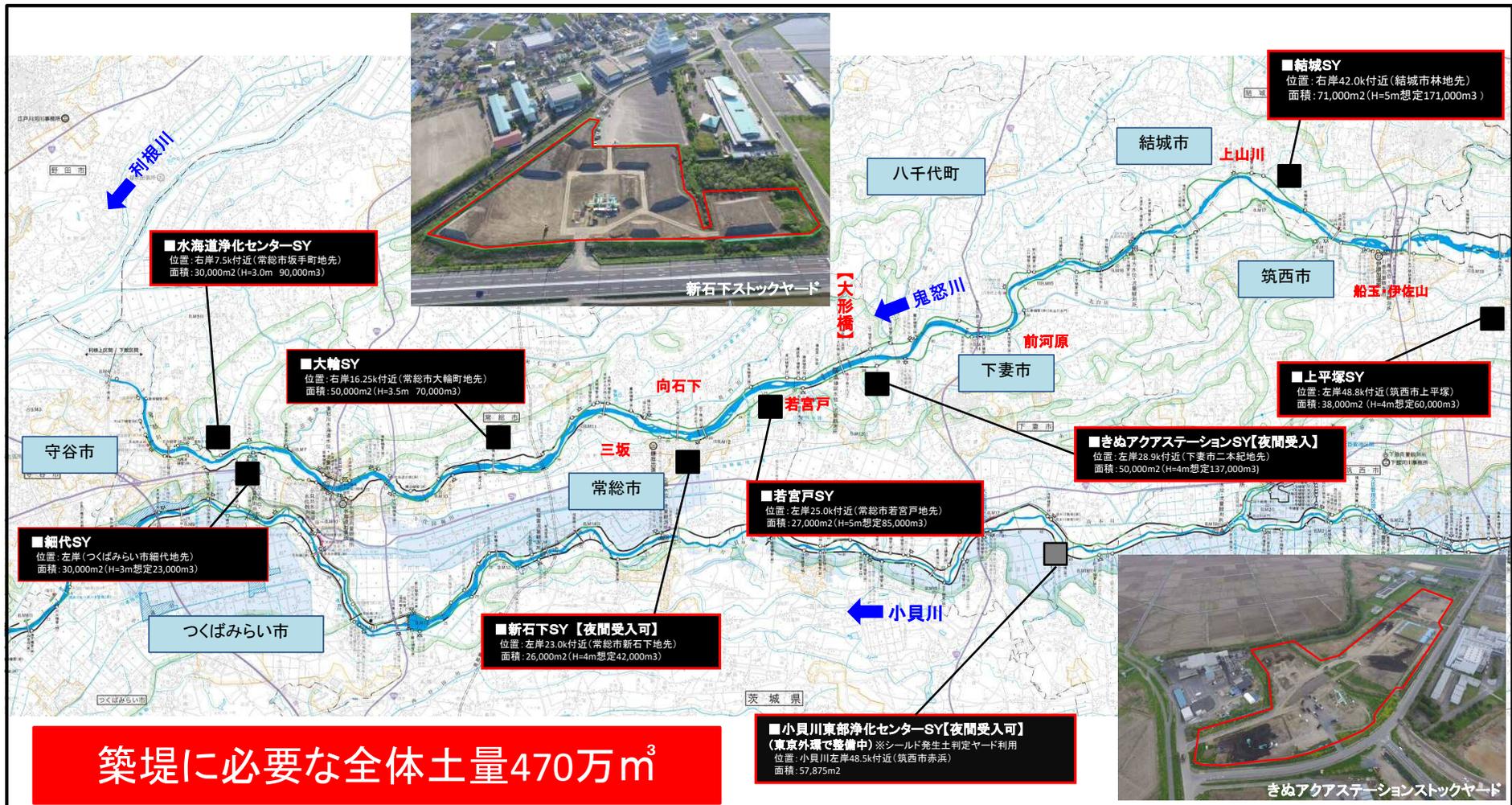
# 堤防決壊箇所(左岸21.0k付近)の応急復旧

- 決壊約9時間後、平成27年9月10日22時頃、応急復旧工事に着手
- 工事着手後、約5日間で延長約200mの仮堤防完了(荒締切工のうち盛土部分)
- その後、護岸や鋼矢板による補強工を実施し、着手から2週間で二重締切工までの応急復旧工事完了



# 堤防を早く完成させるための工夫 ～必要土量の確保～

- 鬼怒川緊急対策プロジェクトで必要となる大量の土量を切れ目なく現場に提供することが最大の課題
- 河道掘削により掘削土が発生するが、河道掘削だけでは不足土が発生
- 不足する土は他事業の発生土で解消。受け入れにあたりストックヤードを堤内地に設けることにより、出水期に土砂改良工事等を進めることができ、事業の進捗と施工の平準化を図ることが可能に
- 施工に際して、7箇所のストックヤードを確保し工事を進めました。



# 堤防を早く完成させるための工夫 ～効率的な土砂・資機材運搬ルート確保～

堤防を効率的に施工するための土砂・資機材運搬ルート確保と工事用道路の設置



# 堤防を早く完成させるための工夫 ～i-Constructionの積極的導入～

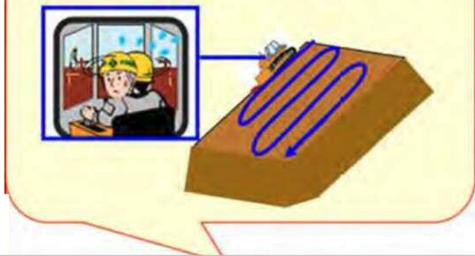
【従来: 確実な締固め作業には、オペレータの熟練した技能を要する】

## 品質管理の負担大

### 盛土の締固め

・オペレータの経験と勤頼りの締固め作業

※転圧回数・転圧箇所はオペレータ等による確認



締固め回数不足や締固め箇所の抜け落ちの可能性

### 法面の整形

- ・オペレータの経験と勤頼りの盛土法面整形
- ・事前に測量を行い、整形する勾配の位置出し(丁張り作業)を行う必要がある。



削りすぎや整形箇所の抜け落ちの可能性

【従来: 計測結果の書類作成・整理に労力を要する】 出来形管理の負担大

### 書類の整理

- ・観測手簿(ノート)に記載した数値をパソコンで入力し、デジタル化する必要がある。
- ・盛土施工管理データ
- ・現場密度試験及び結果整理
- ・・・等 書類を多数作成

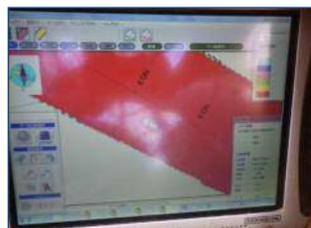


【今回: オペレーターに頼らず確実に全面を所定の締固め回数まで締固め出来る】

## 品質管理の自動化

### 締固め管理の自動化(アシスト)

- ・締固め回数をモニターでリアルタイムで確認
- ・オペレーターに頼らず所定の品質が確保できる。



運転席モニターで締固め回数を確認

### 法面整形の自動化(アシスト)

- ・位置だし(丁張り作業)が不要
- ・整形状況をモニターでリアルタイムに確認
- ・オペレーターに頼らず所定の品質が確保できる。



運転席モニターで法面整形の状況を確認

【今回: 計測結果の書類作成・整理を自動化】

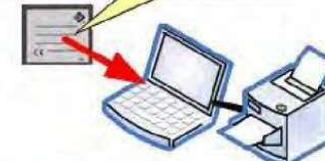
## 出来形管理の自動化

### 現場密度試験の不用と書類作成の自動化

- ・出来形計測からデータ処理まで、パソコンでの自動化により、労力と人為的ミスが軽減

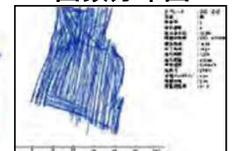
### 出来形管理資料作成・出力

メモリーカード  
(TS出来形計測データ)



書類は自動で作成

- ・走行軌跡図
- ・回数分布図 等



【鬼怒川緊急対策プロジェクト工事 全体でのICT工事活用率 約66% (119件/180件)】

平成28年4月1日 (ICT導入後) 135工事中117件で導入、約87%

# 工事見学会及び担い手の育成

工事の進捗状況をご覧いただくための工事見学会を平成28年から約75回開催し、また、担い手の育成にも努めています。

●平成28年度 ●平成29年度 ●平成30年度 ●令和元年度 ●令和2年度



## 鬼怒川・小貝川かわまちづくり

下妻市・常総市から沿川7市町に拡大し、堤防整備にあわせて、**サイクリングロード**を整備し街と川の拠点をつなぎ、**にぎわい**をうみだします。



### 鬼怒川緊急対策プロジェクト+1 (プラスワン)

地域に元気を届けるための、単にプロジェクトを進めるだけではない、一歩進んだ取り組みや工夫です。

#### リバースポット

- 水辺の魅力を活かし、休憩施設などを設けていきます。
- 絵はイメージですが、今後、市町と連携して整備を進めていきます。

#### タウンスポット

- まちの中にある観光資源等をサイクリングコースの立ち寄り拠点としていきます。
- 紹介しているのは一例です。まだまだ色々あります。



平成31年3月28日 かわまちづくり伝達式

平成27年9月関東・東北豪雨を受けて始まった鬼怒川緊急対策プロジェクト。鬼怒川の堤防整備にあわせて設置する河川管理用通路等を活用して川と街の拠点をつなぎます。



結城市 下妻市 常総市 守谷市 筑西市 つくばみらい市 八千代町 茨城県 国土交通省 関東地方整備局

# 鬼怒川サイクルフェスタ2019 三坂開通セレモニー



- 開催日時 令和元年9月23日(月) 11:00~11:30
- 開催場所 茨城県常総市三坂町地先(鬼怒川左岸20.75k付近)
- 参加者  
常総市長、結城市長、下妻市長、守谷市長、八千代町副町長、筑西市副市長、つくばみらい市副市長、茨城県土木部長、関東地方整備局河川部長、下館河川事務所所長
- 概要  
常総市区間の鬼怒川サイクリングロード開通に伴い、常総市では「鬼怒川サイクルフェスタ2019」を開催し、253名が参加しました。下館河川事務所は、常総市三坂町の決壊地点において、完成した堤防上で、オープニングセレモニーとしてテープカットなどを行いました。



【常総市長 挨拶】



【記念撮影】



【テープカット】



【記念撮影(UAVから撮影)】



【サイクリング状況】

# 2020下妻市シルクロードセブン試走会



- 開催日時 令和2年11月8日(日) 9:00~17:30
- 開催場所 試走コース ①下妻・常総周遊コースの試走(約60km)  
大形橋～春子屋・ゆたかや～決壊の碑(三坂)～大生郷天満宮～坂野家住宅～豊田城～やすらぎの里しもつま～大宝八幡宮～道の駅しもつま ②ビアスパーク下妻 意見交換
- 参加者  
下妻市役所、常総市役所、株式会社三五関東(日野)約40名
- 概要  
鬼怒川・小貝川を軸にビアスパークしもつまを発着点とした下妻・常総周遊コース案について試走を行い、コースの特性や安全性等を確認する



# 『鬼怒川緊急対策プロジェクト』 【ソフト対策関連】

年	出来事
2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>●減災対策協議会 開催 (全国初)</li> <li>●みんなでタイムラインプロジェクト始動</li> <li>●プッシュ型配信常総市で開始 (全国初)</li> </ul>
2017	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プッシュ型配信19市町に拡大</li> <li>●まるごとまちごとハザードマップ実施</li> <li>●常総市小中学校でマイ・タイムライン作成</li> <li>●逃げキッド完成</li> </ul>
2018	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急排水計画(案)の策定</li> <li>●マイ・タイムライン1万人作成</li> <li>●マイ・タイムラインリーダー認定制度策定</li> </ul>
2019	<ul style="list-style-type: none"> <li>●下流協議会13市町 広域避難計画締結</li> <li>●マイ・タイムライン商標登録</li> <li>●マイ・タイムラインポータルサイト開設</li> </ul>
2020	<ul style="list-style-type: none"> <li>●逃げキッドをリニューアル</li> <li>●マイ・タイムライン作成講座のYouTube生配信</li> <li>●流域治水協議会 開催</li> </ul>
2021	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「流域治水プロジェクト」策定</li> </ul>



みんなでタイムラインプロジェクト検討会



広域避難計画 協定締結



流域治水協議会 開催



# 鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

○平成28年2月17日に第1回協議会を開催し、全国に先駆けて、国、県、市町が一体となり、「鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立しました。  
 ○平成28年5月11日には第2回協議会を開催し、全国に先駆けて、「水防災意識社会」を再構築するための取組方針を策定しました。

## 鬼怒川・小貝川下流域の減災に係る取組方針の概要

- ・洪水を安全に流下させるための堤防整備に加え、堤防天端の保護など危機管理型ハード対策を実施
- ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表や広域避難計画を反映したハザードマップの作成、周知
- ・浸水のおそれのある全小学校を対象に防災教育を実施 ・ 氾濫水の早期排水のため、緊急排水計画(案)を作成

・令和3年2月19日の「第7回 鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」において、今後5年間で達成すべき目標を設定

鬼怒川・小貝川の大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、Web会議で開催

5年間の活動のあゆみ（平成28年度～令和2年度）

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
12月 水防災害準備推進プロジェクト発足 12月 鬼怒川緊急対策プロジェクト発足 8月 平成27年9月関東・東北豪雨による浸水被害(仮設市町)	8月 堤防整備の進捗に差が出たタイムラインの作成 8月 鬼怒川洪水浸水想定区域図の公表 8月 第1回 上流域対策協議会 5月 第2回 下流域対策協議会 浸災1年を振り返るための取り組み 2月 第1回 下流域減災対策協議会	8月 水防災害準備推進プロジェクトの進捗 8月 水防災害準備推進プロジェクトの進捗 11月 第1回 鬼怒川洪水浸水想定区域図の公表 10月 第1回 鬼怒川洪水浸水想定区域図の公表 9月 第2回 上流域対策協議会 浸災1年を振り返るための取り組み 8月 第3回 下流域対策協議会	12月 タイムラインの作成 12月 タイムラインの作成 9月 水防災害準備推進プロジェクトの進捗 5月 タイムラインの検討の進捗 5月 緊急排水計画(案)の作成 5月 第3回 下流域対策協議会 3月 小貝川洪水浸水想定区域図の公表	10月 タイムラインの作成 10月 令和元年日本台風(台風19号) 10月 緊急会議 令和元年台風第19号 鬼怒川下流域における地域防災活動について 9月 水防災害準備推進プロジェクトの進捗 8月 道の駅におけるタイムライン作成協議会の実施 7月 タイムラインの検討の進捗 5月 タイムラインの検討の進捗 5月 第5回 上流域対策協議会 5月 第5回 下流域対策協議会	11月 オンラインによるタイムラインリーダーミーティングの実施 9月 タイムライン作成協議会(1回)の実施 5月 第5回 下流域対策協議会 12月 民間企業協賛によるオンラインタイムライン作成協議会の実施



**協議会構成員：**古河市長、結城市長、龍ヶ崎市長、下妻市長、常総市長、取手市長、つくば市長、守谷市長、筑西市長、坂東市長、つくばみらい市長、八千代町長、利根町長、茨城県防災・危機管理部長、茨城県土木部長、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社、関東鉄道株式会社、真岡鐵道株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、気象庁 宇都宮地方気象台長、水戸地方気象台長、国土地理院 関東地方測量部長、関東地方整備局 河川部長、下館河川事務所長

**協議会構成員：**宇都宮市長、小山市長、真岡市長、矢板市長、さくら市長、下野市長、上三川町長、益子町長、芳賀町長、塩谷町長、高根沢町長、栃木県知事、日本貨物鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、真岡鐵道株式会社、野岩鐵道株式会社、気象庁 宇都宮地方気象台長、水戸地方気象台長、国土地理院 関東地方測量部長、鬼怒川ダム統合管理事務所長、下館河川事務所長

引き続き、取組方針に沿って取り組みを進めるとともに、定期的なフォローアップを実施

# 鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

## ○取組方針【下流域減災対策協議会】

### 1)ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 危機管理型ハード対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

### 2)ソフト対策の主な取組

#### ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

##### ■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(鬼怒川・小貝川・八間堀川)の公表
- ・広域避難計画の策定
- ・広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知
- ・まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
- ・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

##### ■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成
- ・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)

##### ■防災教育や防災知識の普及

- ・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置
- ・水防災に関する説明会の開催
- ・教員を対象とした講習会の実施
- ・小学生を対象とした防災教育の実施
- ・出前講座等を活用した講習会の実施
- ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信
- ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

##### ■共助の仕組み強化のための取組

- ・防災部局だけでなく高齢福祉部局についても、協議会への参加や協議会に関する情報共有を実施
- ・地域包括センターにハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット等を設置
- ・地域包括支援センター・ケアマネージャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施

##### ■災害を我がことと考えるための取組

- ・ハザードマップの訓練等への活用
- ・マイ・タイムライン作成講座の実施
- ・地域の防災リーダーの育成
- ・水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施

#### ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

##### ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
- ・水防団同士の連絡体制の確保
- ・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- ・関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
- ・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

#### ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組

##### ■緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・排水機場・樋門・水門等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討等を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画(案)を作成
- ・緊急排水計画(案)に基づく排水訓練の実施

## 平成27年9月 関東・東北豪雨



約4300名が救助された

『逃げ遅れ』が課題

平成27年12月11日、国土交通省が

 **水防災意識社会 再構築ビジョン** を策定

住民自らが避難行動を起こす⇒『逃げ遅れゼロ』

## みんなでタイムラインプロジェクト

〔下館河川事務所〕

自らのリスクを知り、一人一人の逃げ方を考えることを目指したプロジェクトをスタート

モデル地区(常総市根新田地区,若宮戸地区)において

平成28年11月から延べ5回検討会を実施し、住民165名が参加マイ・タイムラインの重要性や内容を議論

➡ 平成29年6月  
マイ・タイムラインノートを作成した。

マイ・タイムライン ノート

名前 \_\_\_\_\_

河川名	鬼 怒 川
地区名	
自治会名	
続柄	名 前

家族全員を記入しましょう。

みんなでタイムラインプロジェクト

平成28年11月20日  
第1回検討会の様子(根新田)



地形の特徴、自宅周辺の浸水リスクなどを「知る」洪水発生時の防災行動を整理しマイ・タイムラインを作成出来る。

# マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインとは、台風の接近等によって、河川水位が上昇する時に、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画

台風の接近 (3日前)

## ● 河川の水位変化と洪水時に得られる情報とマイ・タイムラインの作成



これらの情報を基に  
防災行動計画を作成

時間	国	市	住民等
3日前			テレビの天気予報を注意して見る。 ハザードマップで避難所を確認。 非常持ち出し袋を準備する。 足りないものを買っていく。 川の水位をインターネットで確認。
洪水予報		高齢者等避難	おじいちゃんと一緒に 早めに避難開始
洪水予報		避難指示	避難所に避難完了
氾濫発生			

マイ・タイムラインの検討の過程で...

「リスクを認識」

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い 等

知る・  
気づく

「逃げるタイミングがわかる」

- ・いつ逃げる？
- ・誰と逃げる？
- ・危険な場所をよけて逃げるには？

考える

「コミュニケーションの輪が広がる」

- ・意見交換などで、知り合いになれる 等

マイ・タイムラインができて...

- ❗ 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ❗ 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

## ● 作成の状況 ※避難の実効性を高める「住民自らが手を動かす取組」が重要



## ● 参加者の主な意見等 ※各地で取り組まれている事例からの抜粋

- ・避難するために、どのような情報が必要で、何を基準にして避難するか理解できた。
- ・避難先の選定が難しく感じた。
- ・情報入手や早めの行動、家族との話し合い、自助・共助・公助等勉強になった。
- ・個人での対応にも限界があり、地区での共助も必要だとわかった。

住民参加型の取組により、住民の「水防災意識の高揚」や「水防災知識の向上」、さらに「地域の絆の強化」に寄与

26

# マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」

## 低年齢層からの防災教育

平成29年8月、常総市教育委員会や常総市小中学校教職員等と共同で、逃げキッドの大枠を作成



平成29年9月、  
常総市小中学校一斉防災訓練  
**初**小中学校で  
マイ・タイムライン作成

三妻小学校 平成29年9月1日



【実施場所】  
常総市内小中学校6校  
【参加人数】  
約800名

マイ・タイムライン  
作成の流れ(一例)

児童がマイ・タイムラインの骨格を作成

各家庭で保護者と話しあい、タイムラインを充実

学校でマイ・タイムライン発表会

## マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」

平成30年、マイ・タイムライン検討ツール  
「逃げキッド」完成

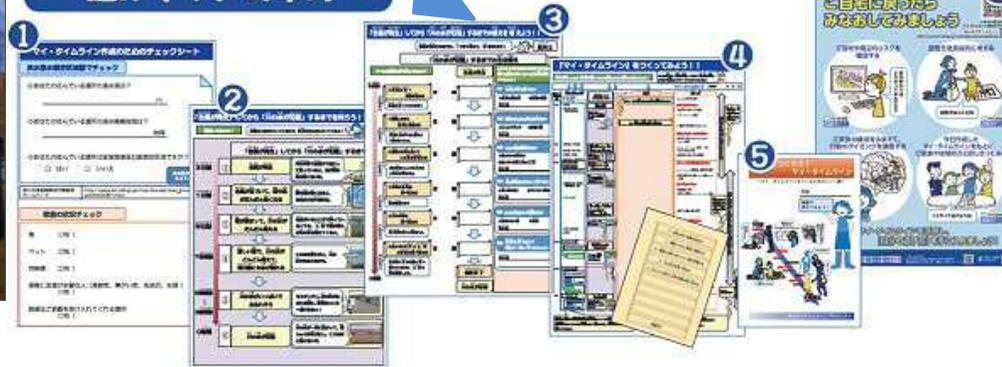


逃げキッドに込められた思い

- 1 子供(キッド)にも作成してもらいたい
- 2 鬼怒川・小貝川地域の方言で「逃げるぞ！」  
→逃げキッド

封筒をあけると・・・  
下記の教材がはっています

### ～逃げキッドの中身～



- (1) マイ・タイムライン作成のためのチェックシート
- (2) 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう!! (資料1)
- (3) 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう!! (資料2)
- (4) 『マイ・タイムライン』をつくってみよう!!
- (5) みんなでつくろう! マイ・タイムライン ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～
- (6) ご自宅に戻ったらみなおしてみよう

# 「逃げキッド」をリニューアル(R2.8.26)

マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

洪水ハザードマップや浸水想定区域図等でチェック

あなたの住んでいる場所の浸水深は？

あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？

あなたの住んでいる場所は家屋倒壊等危険想定区域(氾濫区・沿岸浸食)ですか？

ハザードマップ、浸水想定区域図、洪水ハザードマップや浸水想定区域図はここからチェック！

家庭の状況チェック

避難先のチェック

あなたが避難する場所

洪水ハザードマップに記載されている避難所

隣家・知人の家

その他(近くの浸水しない場所)

あなたが避難する場所までのルートをお考えのことはありますか？

避難先のチェック項目を追加！

浸水しない場所を避難先として、複数考えておくことが大切です。避難先までのルートも考えておきましょう。

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！

マイ・タイムラインの作成手順

1. 避難先を決める

2. 避難経路を決める

3. 避難準備のタイミングを決める

4. 避難開始のタイミングを決める

5. 避難指示(緊急)を受け取る

6. 避難所へ避難する

7. 避難所での行動

8. 避難所からの帰宅

9. 避難所からの帰宅

10. 避難所からの帰宅

文字を大きくするなど作成用紙を見やすく改良！

自治体から発表される警戒レベル3と警戒レベル4はシールに変更しました。各自治体がどのタイミングで避難勧告などを発表するかを知っておきましょう。

逃げキッドは、下館河川事務所のホームページからダウンロードできます。

自治体の避難情報のタイミングを調べてシールの貼り方を確認しよう！

1. 避難準備(高齢者等) 2. 避難勧告を発令 3. 避難開始を発令 4. 避難指示(緊急)を発令

ア、安全な所へ移動を始める

イ、避難しやすい服装に着替える

ウ、避難する時に持っていくものを準備する

エ、今後の台風や前線の動きを調べ始める

オ、川の水位を調べ始める

カ、住んでいる所と上流の雨量を調べ始める

避難完了

おうちに貼って、浸水深を確認しよう！

浸水深シールの使い方

① チェックシートに書いた浸水深をシールに書きこもう。

② 地面から測った浸水の高さにシールを貼ろう。

③ 大切なものは、シールより高い場所へ移動しよう。

④ 水が膝までであると移動は難しいよ。

このあたりの浸水深は、 m

ここまで浸水するおそれがあります

このあたりの浸水深は、 m

ここまで浸水するおそれがあります

浸水の高さを実感して、マイ・タイムラインで自分や家族の安全を確保する行動をお考えのときの参考にしましょう。

浸水深、警戒レベルなどのシールを追加！

浸水深を記入できるシールを自宅等に貼って、浸水の高さを実感して、行動を考えたときの参考にしましょう。オリジナルの行動には「いいね」シールを貼ってみましょう。

川の水位を自分で調べてみよう！

インターネットで、水位のリアルタイム情報、ライブ映像、洪水予報などが確認できます。

また、NHK総合テレビのデータ放送(dボタン)でも、川の水位の情報を確認できます。

川の水位情報

川の動画と水位

下館河川事務所ホームページ

ライブカメラ映像

情報の入手はこちらから

文字検索で調べる

QRコードで調べる

川の防災情報

川の水位情報

下館河川事務所

ヒント集を分かりやすく情報が入手しやすいように改良！

水位の調べ方や避難に役立つ情報などを整理して、見やすく改良しました。いざという時にあわてずに行動するために知っておきましょう。

# マイ・タイムラインリーダー誕生

## マイ・タイムラインリーダー認定制度

平成30年12月までに、逃げキッド作成講座を合計**80回**実施

平成30年度、**マイ・タイムライン作成者1万人**突破

平成30年12月、**マイ・タイムラインリーダー認定制度**を制定

平成31年1・2月

マイ・タイムラインリーダー認定講座を6市町※で実施  
**202名**が**マイ・タイムラインリーダー**に認定

令和元年7月

マイ・タイムラインリーダー向けポータルサイト開設

令和元年8月

マイ・タイムラインリーダー約300人認定

令和元年度末、**マイ・タイムライン作成者2万人**突破

令和3年8月末現在

マイ・タイムラインリーダー347人認定

\*6市町・・・常総市、下野市、龍ヶ崎市、塩谷町、  
つくばみらい市、下妻市 (約250名)



**マイ・タイムラインリーダー認定証**  
リーダー認定者は小中学校や自治会等のマイ・タイムライン作成を積極的に支援を実施

## マイ・タイムラインリーダー認定講座

マイ・タイムラインリーダー認定講座 (下妻市 平成31年2月9日)



講師補助として作成講座をお手伝い  
ハザードマップの見方をフォローしたり、  
作業のやり方について補完し、受講者の  
作業を手助けを実施していただいています。

地区等のマイ・タイムライン作成  
講座における役割(支援)



# マイ・タイムラインリーダーの活動をサポート

## 逃げキッド活用ガイド

マイ・タイムライン  
リーダーのための教科書

マイ・タイムラインリーダーが、マイ・タイムライン作成講座を開催する際の工夫点やシナリオ例を記載

教えやすくなるような  
豆知識も記載

## マイ・タイムライン作り方動画

一人で作る時や、講師で説明する時にも利用できる動画

マイ・タイムラインの必要性を分かりやすく解説している動画

## マイ・タイムラインポータルサイト

マイ・タイムライン  
リーダーの個人ページ作成

リーダーと流域内における作成講座の情報を共有し、リーダーの活動をより円滑に行うことができるポータルサイトを開設しました。

## マイ・タイムラインポータルサイト

URL : <https://mytimeline.river.or.jp/>

マイ・タイムラインの歴史から最新情報まで記載しています！  
YouTube、ダウンロードで動画がご覧いただけます！

# 赤プルとつくろうマイ・タイムライン ～おめーらみんなで逃げきっど！！～

○前半は防災士である赤プルさんが防災に関する“あるある”を参加者の方とやりとりしながら考えました。後半は、常総市長が進行役を務め、赤プルさんと参加者は動画を見ながらマイ・タイムラインを作成しました。

・ 実施日時：平成30年6月23日(土) 13:00～15:00

## 事前の配布チラシ

**赤プルとつくろうマイ・タイムライン**  
～おめーら みんなで 逃げきっど！！～

常総市出身の赤プルさんと一緒に、  
家族構成や生活環境にあった  
自分自身の防災行動「マイ・タイムライン」を作りましょう。

日時 平成30年 6/23(土) 13:00～15:00(12:30開場) 定員200人

会場 常総市立石下小学校体育館  
常総市石下1907-1

プログラム  
13:00 開会  
【第1部】13:10～13:30 赤プルの防災あるある  
防災イラストがあり、防災上でもある赤プルさん。実際の生活上に起こるために役立つ話をします。  
【第2部】13:30～15:00 赤プルとつくろう マイ・タイムライン  
～自分の逃げ方を考えよう～  
洪水のリスクをとり、家族構成や生活環境にあった、自分自身の防災行動「マイ・タイムライン」を作ります。  
対象 マイ・タイムライン作成経験 へ9、どうしてマイ・タイムラインの7～  
水防河川課 赤プルと一緒にマイ・タイムラインをつくろう！  
出演者 赤プルさん(防災イラストレーター)  
常総市立石下小学校体育館(常総市石下1907-1)

15:00 閉会

お問い合わせ先  
常総市立石下小学校体育館  
TEL: 0296-25-2171  
Eメール: [info@shimoda.ktr.jp](mailto:info@shimoda.ktr.jp)



参加者：  
約200名

# 学校の先生や自治体によるマイ・タイムラインの作成

常総市内の小・中学校における水防災教育



鬼怒中学校



豊田小学校

○令和元年9月11日に常総市内11の小中学校において、各学校の先生、保護者の方等がサポートを行いながら、逃げキットを活用したマイ・タイムラインを作成講座を実施しました。

下妻市長がマイ・タイムラインリーダーとして講師を実施



○令和元年6月23日(日)、下妻市民文化会館でマイ・タイムライン作成講座が開催され、住民や自主防災組織の方など約700名が参加しました。

# お天気キャスターとつくりマイ・タイムライン in 道の駅

【概要】お天気キャスターのお話を聞いて洪水のリスクを知り、一人ひとりの家族構成や生活環境にあった自分自身の防災行動計画「マイ・タイムライン」を作る講座を開催しました。

【実施概要】令和元年8月24日(土) 道の駅うつのみや ろまんちっく村 寺川奈津美講師  
令和元年8月25日(日) 道の駅うつのみや ろまんちっく村 天達武史講師  
令和元年10月6日(日) 道の駅グランテラス筑西 菊池真以講師

8月24日、講師：寺川さん



8月25日、講師：天達さん



10月6日、講師：菊池さん



# お天気キャスターとつくろうマイ・タイムライン in イオン

令和元年12月1日「イオンタウン守谷」、12月8日「イオンモール小山」にて、マイ・タイムライン作成講座を開催しました。2日間で 約200名の方にお集まりいただきました。  
お天気キャスターの 寺川奈津美さん、菊池真以さんに講師をしてもらいました。  
初めてイオンでの開催となり、多くの子どもたちにもマイ・タイムラインを知ってもらえるきっかけとなりました。

12月1日  
講師：菊池さん



お天気キャスターとつくろう  
マイ・タイムライン—自分の逃げ方を考えよう

2019年 12/1 日

参加申込み不要  
参加費無料

講師 菊池真以さん  
お天気キャスターとして、  
1日お天気予報を伝えるお仕事。  
お天気予報は、安全な暮らしのために、  
大切な役割を担っています。

会場 イオンタウン守谷  
1階 セントラルコート  
〒305-0851 茨城県守谷市中央1-1-1

電話やインターネットで体験できるよ!

第1回 11:00-11:30 1人  
第2回 13:30-14:00 1人  
第3回 15:00-15:30 1人  
1回 30分



12月8日  
講師：寺川さん



お天気キャスターとつくろう  
マイ・タイムライン—自分の逃げ方を考えよう

2019年 12/8 日

参加申込み不要  
参加費無料

講師 寺川奈津美さん  
お天気キャスターとして、  
1日お天気予報を伝えるお仕事。  
お天気予報は、安全な暮らしのために、  
大切な役割を担っています。

会場 イオンモール小山  
1階 サラココート  
〒325-0851 栃木県小山市中央1-1-1

電話やインターネットで体験できるよ!

第1回 11:00-11:30 1人  
第2回 13:30-14:00 1人  
第3回 15:00-15:30 1人  
1回 30分

イオンモール小山とコラボ



# 『マイ・タイムライン作成講座を、YouTubeで生配信』

【概要】:一人ひとりの家族構成や生活環境にあった自分自身の防災行動計画「マイ・タイムライン」を作る講座を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、YouTubeで生配信しました。

【開催日時】:令和2年9月5日(土) 11時~約40分

【講師】:常総市出身の防災芸人赤プル(マイ・タイムラインリーダーA級)

閲覧数160名程度  
視聴者数45名程度



# 『マイ・タイムラインリーダー認定講座(オンライン)を開催』

【概要】：早期避難・逃げ遅れゼロの大切さをより多くの方々に再度知ってもらえるようにマイ・タイムラインリーダー認定講座を開催しました。初めてお天気キャスターを講師に招き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、**オンライン(ZOOM)**で実施。

【開催日時】：令和2年11月28日(土) ①10時～、②13時～

【講師】：お天気キャスター 菊池 真以さん

参加者約50名



菊池講師による認定講座



ハザードマップの説明(常総市)



参加状況



# 『マイ・タイムラインリーダー認定講座(オンライン)を開催』

【概要】：早期避難・逃げ遅れゼロの大切さをより多くの方々に再度知ってもらえるように自治体職員等を対象にマイ・タイムラインリーダー認定講座を開催しました。お天気キャスターを講師に招き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、オンライン（ZOOM）で実施。

【開催日時】：令和3年5月18日（火）14～16時

【講師】：お天気キャスター 向笠 康二郎さん

参加者約40名



向笠講師による認定講座



参加状況



# 住民参加型のマイ・タイムラインに基づく情報伝達訓練

○洪水時に的確な情報伝達ができるよう、関係市町、茨城県、下館河川事務所等が連携し、実際の洪水を想定した情報によりタイムラインを活用した机上形式の洪水時情報伝達演習を実施しました。

なお、演習では、「マイ・タイムライン」を作成していただいた住民の方にも参加いただき、「マイ・タイムライン」に基づき自らの行動を確認する訓練も併せて実施しました。

- ・平成29年5月28日(日)常総市、 訓練参加者数:約50名(うち住民約15名)
- ・平成30年7月 1日(日)龍ヶ崎市、 訓練参加者数:約110名(うち住民約80名)
- ・令和元年10月27日(日)下妻市、 訓練参加者数:約110名(うち住民約80名)

【令和元年10月27日 下妻市の訓練の様子】



# マイ・タイムラインリーダーによるマイ・タイムライン作成講座 (H31.3.10)

マイ・タイムラインリーダーの方々がつくばみらい市の住民を対象に、マイ・タイムライン作成講座を開催しました。参加したマイ・タイムラインリーダーもつくばみらい市の方々であり、従来の事務局主催の講座より一層、地域に密着したものとなりました。

## ○マイ・タイムラインリーダー

講師：1名(つくばみらい市職員)

講師補助：21名(つくばみらい市の防災士・自主防災組織、つくばみらい市職員)

## ○受講者数：約30名(つくばみらい市谷井田地区)

### 講師による全体説明の様子



### 講師補助による個別説明の様子



# 住民参加型のマイ・タイムラインに基づく情報伝達訓練 (H31.3.10)

洪水時に的確な情報伝達を実施できるよう、つくばみらい市、茨城県、下館河川事務所等の行政機関が連携して、実際の洪水を想定し、情報伝達における一連の流れを確認しました。なお、演習では、マイ・タイムラインを作成していただいた住民の方に参加いただき、マイ・タイムラインに基づき自らの行動を確認する訓練も併せて実施しました。

○参加機関：つくばみらい市、消防団、茨城県、水戸地方気象台、下館河川事務所

○参加者数：約75名(うち住民の方 約50名)

## 会場の様子

水戸地方気象台、  
消防団

つくばみらい市

住民

下館河川  
事務所

茨城県  
水戸土木事務所

つくばみらい市長

マイ・タイムライン

各行政機関は洪水時の  
情報伝達を実施・確認 →

住民の方は、気象状況や行政機関の情報伝達を見ながら、マイ・タイムラインを確認



↑ マイ・タイムライン上の  
行動内容を発表、  
行政機関へ避難行動  
に関する疑問点を質問

↑ 避難することとしたタイミングでステージの上へ移動

40

# マイ・タイムライン、逃げキッドなど商標登録



- 「マイ・タイムライン」
- 「逃げキッド」
- 「みんなでタイムライン」
- 「みんなでタイムラインプロジェクト」

商標登録されました



# 『マイ・タイムライン検討の取組』が全建賞を受賞

○令和元年6月25日、鬼怒川・小貝川上・下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会において取り組んできた『マイ・タイムライン検討の取組』が全建賞を受賞しました。

全建賞とは、良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。



# プッシュ型の洪水予報等の情報発信

- 平成28年9月5日から、鬼怒川(常総市)においてプッシュ型配信を開始しています。
- 平成29年5月1日から、鬼怒川・小貝川の沿川19市町へ配信しています。

## 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成29年5月1日から8水系25河川にエリア拡大します～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から、国が管理する2河川(鬼怒川、舩川)の沿川市町村(茨城県常総市、愛媛県大洲市)において緊急速報メールを活用した洪水情報※1のプッシュ型配信※2を開始しています。

平成29年5月1日から、国が管理する洪水予報河川のうち、自治体や携帯事業者との調整等が整った管内8水系25河川の137市町村に配信エリアを拡大します。配信対象河川及び市町村は、今後も順次拡大していきます。

※1 「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

※2 「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。



### 洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。



緊急速報メールの着信  
(イメージ)



平成29年6月18日

下妻市防災訓練

(緊急速報メールと連動した避難訓練)

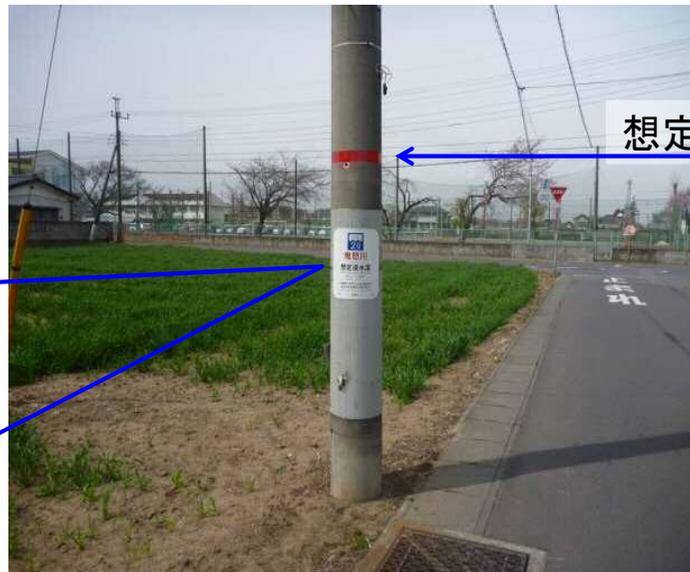


# まるごとまちごとハザードマップ

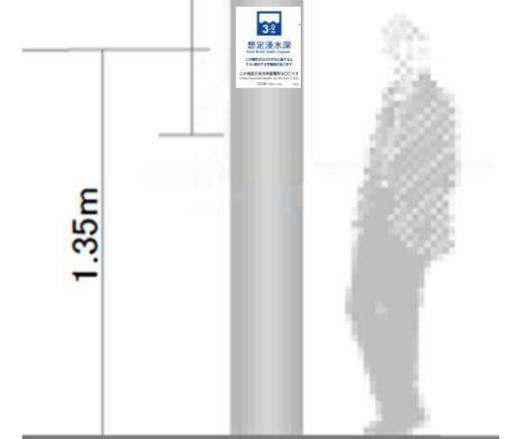
○洪水防災に関わる情報を、生活空間である町の中に標識として表示し、まちを立体的なハザードマップとして見立てていく「まるごとまちごとハザードマップ」に着手

常総市

平成28年8月に公表した想定最大規模の洪水浸水想定区域図と同様の情報を用いて洪水関連図記号の標識および浸水高テープ(赤色)を表示



近くから視認する  
サインの掲出高さ



常総市役所(敷地内)



平成27年9月10日浸水水位  
(常総市・水海道ロータリークラブ)



大生小学校

# 広域避難計画の策定

○令和元年5月30日、「第5回 鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する協議会」を開催し、水防災意識社会再構築に向けた取組をさらに充実させるため、各機関が平成30年度に実施した事項を整理し、取組方針の進捗状況を取りまとめるとともに、大規模水害に関する広域避難計画(案)について協議し、会議後、調印式を行いました。

## 13市町※が広域避難計画策定

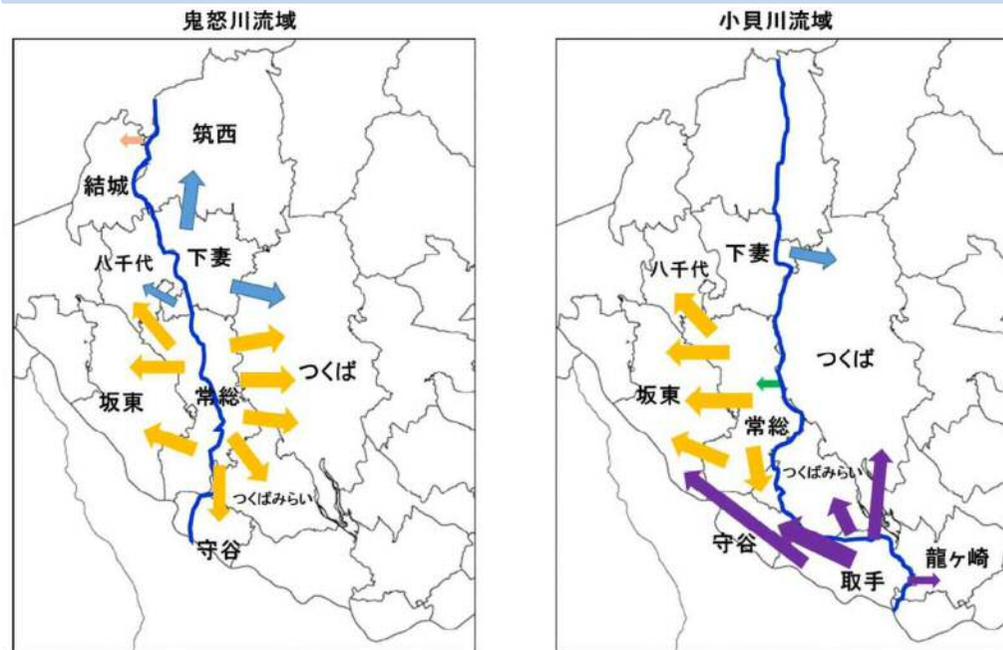


令和元年5月30日 大規模水害時の広域避難に関する協定 調印式の様子

鬼怒川・小貝川における決壊などの大規模被害が想定されることから、市域の垣根を越えた、住民目線の避難行動のための広域避難計画を策定しました。

※13市町…古河市・結城市・龍ヶ崎市・下妻市・常総市・取手市・つくば市  
守谷市・筑西市・坂東市・つくばみらい市・八千代町・利根町

## 避難イメージ



広域避難所開設の流れ

- 1 広域避難体制に移行
- 2 対象河川の水位が協力要請の基準水位（1次，2次，3次）に到達
- 3 避難市町から受入市町に対し、施設使用に関する協力を要請（受入市町が了承）
- 4 避難市町が避難勧告，又は避難指示（緊急）を発令，若しくは発令見込み
- 5 受入市町に広域避難所を開設（避難市町は，避難対象者に周知）

# 水防災に関する説明会の開催(首長との意見交換)

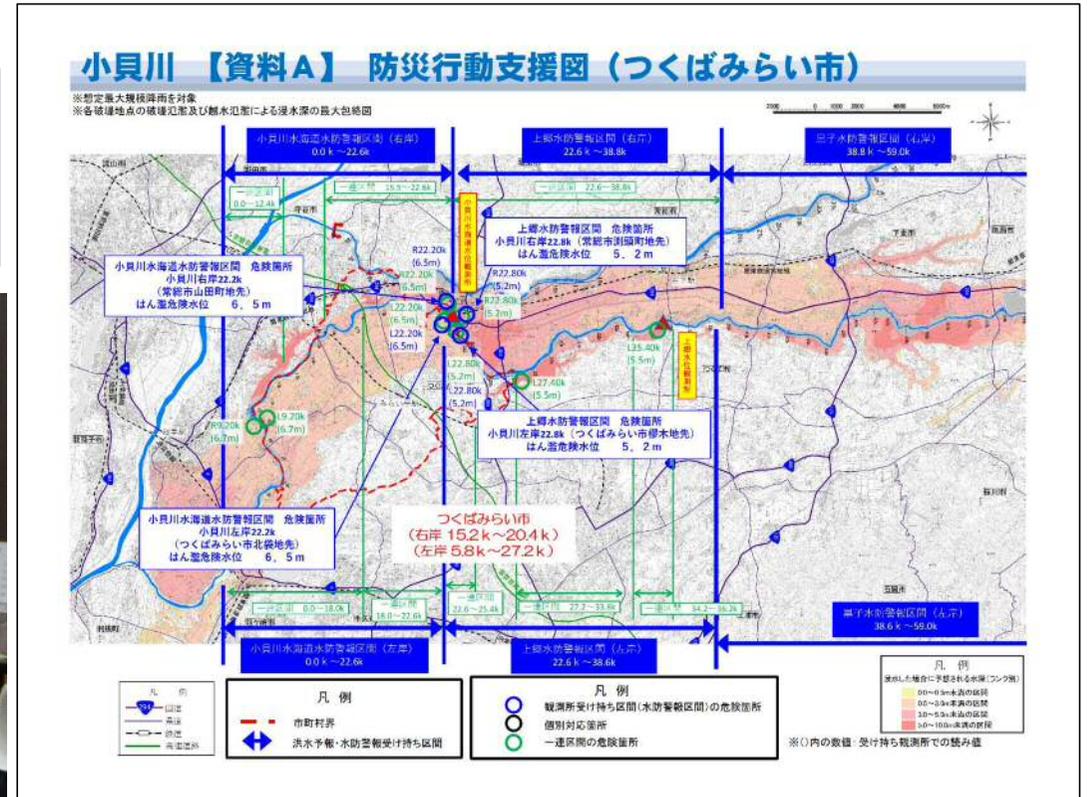
- 洪水時の危機管理に関する意見交換を実施しました。
- 実際の洪水時に備え、円滑な情報交換が行えるように、出水時に河川管理者が提供する情報等について相互に確認を行いました。

## 主な議事内容

- 洪水に関する防災情報について
- 氾濫危険水位、避難判断水位について
- 防災行動支援について
- ホットラインについて



意見交換会の様子(つくばみらい市)



防災行動支援図(つくばみらい市)

※今後も、更なる地域防災力向上に向けて、関係市町と意見交換を行っていく予定。

# ホットライン訓練の実施

○関係市町を対象に「ホットライン」の訓練を実施しています。

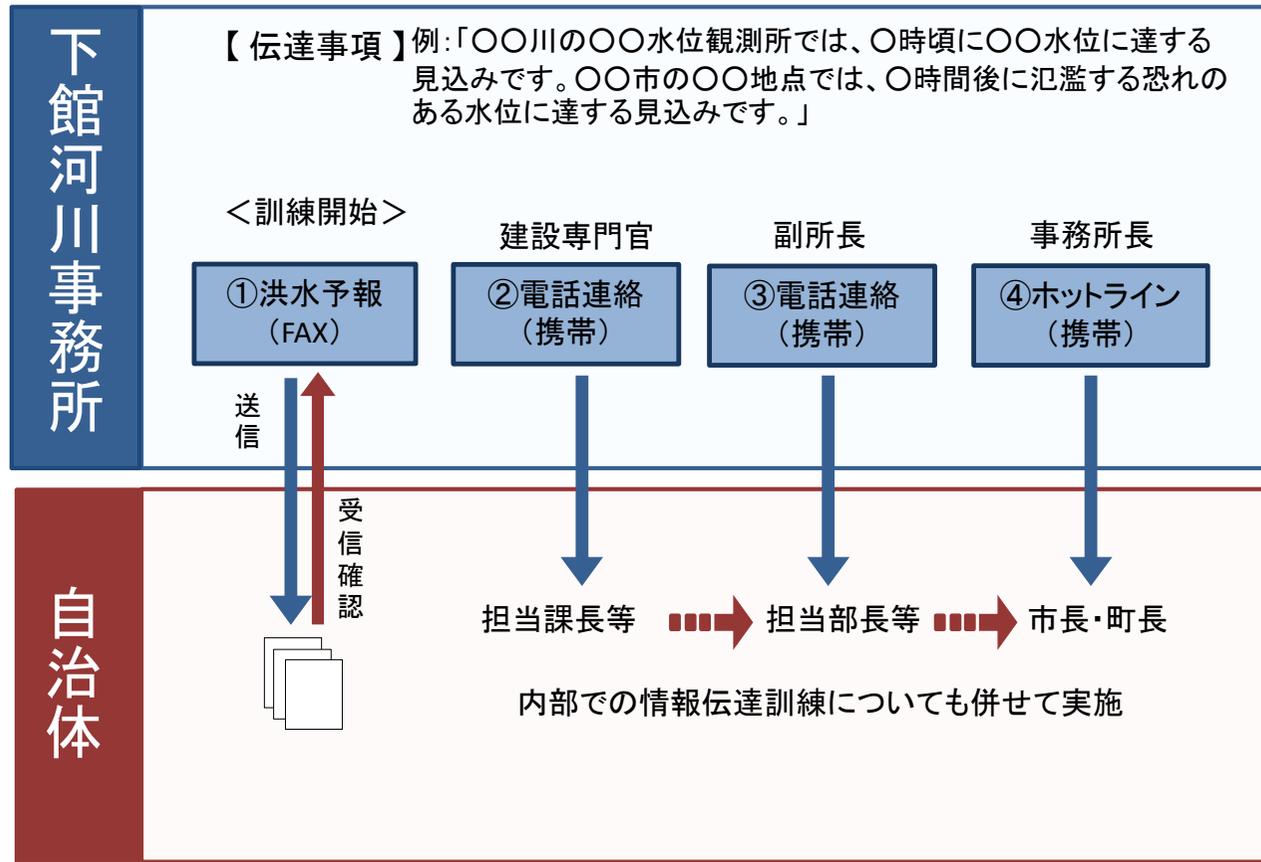
\*「ホットライン」とは、出水時の洪水予報等の連絡に加え、事務所長から首長へ、直接電話にて河川の状況等を補足的に伝える緊急時の手段。  
下館河川事務所では、関係する首長と事務所長の間で訓練を実施。  
これに併せて関係市町の危機管理担当の部・課長とも、実務レベルの情報伝達訓練を実施し、より、確実に情報伝達ができるよう取り組んでいます。

## 【実施内容】

「現在の河川水位の状況」  
「今後の河川水位の動向予測」等

**より分かりやすく！より正確に！**

実施後は、訓練結果をとりまとめて改善をする

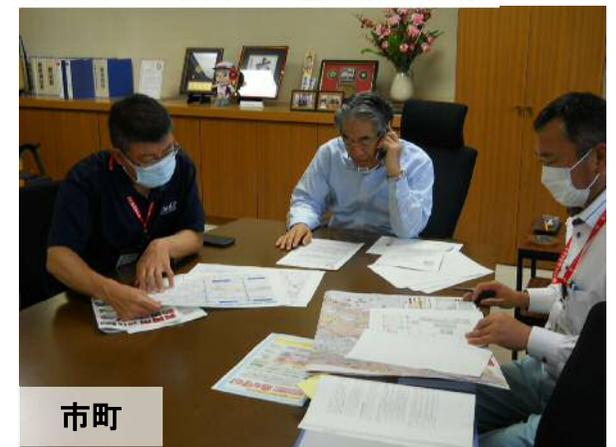


ホットライン訓練の様子



下館河川事務所

ホットラインを受けて避難指示検討



市町

# 『共同点検』(鬼怒川・小貝川)を実施

○水防災の意識の共有・再確認を図るため、鬼怒川・小貝川に接する全19市町と連携し、現地にて「共同点検」を実施しています。

## 【令和元年度概要】

- ・点検期間:6/4~7/5
- ・点検者:各市町職員、県土木事務所、気象台(水戸・宇都宮)、防災エキスパート、水防団(消防団)、一般住民(主に自治区長) 合計338名
- ・点検範囲:堤防延長:約254km
- ・説明項目:重要水防箇所(重点・ランクA)、備蓄資材、基準水位、洪水予報の発表基準、川の防災情報、市町の危険箇所、氾濫シミュレーション等

## 【令和2年度】

- ・令和2年度につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から安全面を考慮し、資料送付をもって共同点検とさせていただきました。



# 『関係機関水防訓練』との連携

○洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のためなどの水防活動の取組として、各関係機関と連携を図りつつ水防訓練を実施しました。

筑西市消防団水防訓練 令和元年5月26日の様子  
(母子島遊水地)



市町村名	水防訓練等名称	開催(予定)日	参加団体等
足利市	第68回利根川水系連合・総合水防演習	5月18日(土)	国土交通省関東地整、国土地理院、一都六県、陸上自衛隊、日本赤十字社、足利市水防団
龍ヶ崎市	二組合同水防訓練	5月19日(日)	稲敷地方広域市町村圏事務組合、利根川水系県南水防事務組合
筑西市	筑西市消防団水防訓練	5月26日(日)	筑西市、下館河川事務所、茨城県筑西土木事務所、筑西広域消防本部筑西消防署、各消防団
常総市	鬼怒・小貝水防連合体水防訓練	7月7日(日)	鬼怒・小貝水防連合体(下妻市・常総市・つくば市・八千代町・つくばみらい市)
宇都宮市	宇都宮市水防訓練	7月13日(土)	宇都宮市、宇都宮市消防局、宇都宮市消防団、栃木県消防防災航空隊

## 令和元年度 水防訓練実施一覧



鬼怒・小貝水防連合体水防訓練 令和元年7月7日開催  
(常総市上三坂地先)

令和2年度の水防訓練ですが、関係機関と協議し、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から安全面を考慮し、開催を中止しました。

# 現地視察対応

- 全ての地域での「水防災意識社会の再構築」を目指し、鬼怒川緊急対策プロジェクトの現場視察を国内(行政・大学・自治会等)のみならず海外からも多数実施しました。
- 平成28年4月から約300回実施しました。(令和2年10月末現在:海外からの視察含む)

## 【現地視察状況】



(R1. 8. 22 長野県篠ノ井中央地区区長会)



(R1. 9. 19 栃木県立烏山高校)



(R1. 10. 10 岡山県議会議員)



(R1. 10. 23 JICA[洪水防災研修])



(R2. 1. 22 石川県議会議員)



(R2. 1. 31 JICA[アジア治水コース]) 50

# 鬼怒川緊急対策プロジェクトの広報活動

- 鬼怒川緊急対策プロジェクトの進捗状況などを事務所ホームページに掲載しています。
- Facebookに、事業の取組状況や流域情報を掲載しています。
- 鬼怒川緊急対策プロジェクトの「パンフレット」、雨量やハザードマップなどに関する情報の入手方法を記載した「川の防災チラシ」等を、説明会や地域イベントなどで配布しています。

## 【下館河川事務所ホームページ】

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所  
鬼怒川緊急対策プロジェクト  
鬼怒川緊急対策プロジェクトの進捗状況

鬼怒川緊急対策プロジェクトの工事実施状況のお知らせ

伊藤出張所管内  
伊藤出張所管内工事の進捗状況のお知らせ

H30鬼怒川左岸船玉伊佐山地区整備工事 施工状況 (R2年10月23日時点) 下館河川事務所

鬼怒川緊急対策プロジェクト

## 【Facebook】

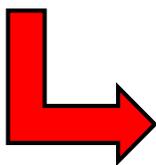


国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所  
9月8日

マイ・タイムライン作成講座をYouTubeで生配信しました！  
9月5日、茨城県出身でマイ・タイムラインリーダーとして活動している防災達人「赤プル」さんによるマイ・タイムライン作成講座を開催しました。

初めての取り組みでしたが、赤プルさんをはじめ関係者の皆さま、視聴して頂いた皆さま、大変ありがとうございました。新型コロナウイルスの影響で昨年とは状況が異なっていますので、マイ・タイムラインを作成したことがない方もあつさり「そなえ」をおきましよう。アーカイブ配信で見られますので是非ご覧ください。  
<https://www.youtube.com/channel/UCqRk9fYQjosh8E5ZaaJOA>

講座で使用したマイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」は下館河川事務所ホームページからダウンロードできます。  
<https://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00626.html>



マイ・タイムライン  
作成講座の記事



## 【パンフレット、チラシ】

鬼怒川緊急対策プロジェクト等のパンフレット

水防災意識社会の再構築を目指して  
**豪雨へのそなえは万全ですか？**

みんなで意識を高め、豪雨にそなえましょう。

CONTENTS

- ・豪雨のそなえとは？

## 川の防災チラシ

**川の防災**  
すぐに使える川の防災情報

パソコンやスマートフォン、テレビ、携帯電話から得られる鬼怒川・小貝川の防災情報

- ・雨量や水位  
鬼怒川・小貝川の雨量や水位の最新情報  
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所  
〒312-0001 茨城県下館市下館1-1-1  
TEL: 0296-25-2180  
FAX: 0296-25-2180  
Eメール: ktr@ktr.mlit.go.jp
- ・川のライブ映像  
鬼怒川・小貝川のライブ映像  
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所  
〒312-0001 茨城県下館市下館1-1-1  
TEL: 0296-25-2180  
FAX: 0296-25-2180  
Eメール: ktr@ktr.mlit.go.jp
- ・冠水シミュレーション  
鬼怒川・小貝川の冠水シミュレーション  
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所  
〒312-0001 茨城県下館市下館1-1-1  
TEL: 0296-25-2180  
FAX: 0296-25-2180  
Eメール: ktr@ktr.mlit.go.jp

# 鬼怒川緊急対策プロジェクトの広報活動

平成27年9月関東・東北豪雨を風化させないために、「平成27年9月関東・東北豪雨のVR映像」、「復旧前後の堤防比較映像」、「空中散歩(360度)映像」を盛り込んだタッチパネルモニター及びコロナ対応を考えた非接触型のマイタイムライン作成装置を設置しています。(常総市地域交流センターに常設)



**タッチパネルモニターで  
360度VR体験が  
出来ます!**

解説付き平成27年関東・東北豪雨VR映像や鬼怒川の昔と今の堤防を上空から見比べられるトローン映像、鬼怒川流域を上空から見下ろす空中散歩など、指で360度ぐるっと回してご覧ください!



**タッチパネルモニターで360度VR体験**  
※洪水や空中散歩など、全方位360°  
動画が体験できます

**全空中!**  
**マイ・タイムライン作成講座**

「マイ・タイムライン作成講座」を  
空中映像で体験できます!



**マイ・タイムラインとは**

台風の接近等によって、河川水位が上昇するときに、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ・何をやるのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画です。

横から  
フラッシュ撮影すると、  
不思議なことが起こります!

イベント会場などで体験できた「マイ・タイムライン作成講座」が常総市地域交流センター（豊田城）で、いつでも体験できます！なんと！映像が空中に浮かんで放映されます！タッチパネル機能も搭載し、非接触で映像をお楽しみいただけます！さらに！お手持ちのスマートフォンでフラッシュ撮影すると不思議なことが起こります！「マイ・タイムライン」を作成した人も、そうでない人も、是非一度ご体験ください！

**鬼怒川・小貝川上下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会**